

第70回 関東合唱コンクール開催要項

(第68回 全日本合唱コンクール関東支部大会)

- 1 主催 全日本合唱連盟関東支部・朝日新聞社
- 2 後援 神奈川県・神奈川県教育委員会・相模原市・相模原市教育委員会 (予定)
茨城県・茨城県教育委員会・水戸市・水戸市教育委員会
- 3 主管 神奈川県合唱連盟・茨城県合唱連盟
- 4 とき 中学校部門同声・混声 ……平成27年9月19日(土)9時30分開会
高等学校部門A・Bグループ ……平成27年9月20日(日)9時30分開会
大学職場一般部門 ……平成27年10月4日(日)9時30分開会
- 5 ところ 「中学校部門混声・同声、高等学校部門A・Bグループ」
・相模女子大学グリーンホール (1,790席)
〒252-0303 相模原市南区相模大野4-4-1 (TEL042-749-2200)
「大学職場一般部門」
・茨城県立県民文化センター (1,514席)
〒310-0851 水戸市千波町東久保697 (TEL029-241-1166)
- 6 審査員 中学校・高等学校部門
江上孝則、河合孝夫、寺嶋陸也、樋本英一、本山秀毅
大学職場一般部門
江上孝則、片野秀俊、河合孝夫、藤井宏樹、本山秀毅
※審査員からの個別指導は受けられません。
- 7 出演の人数及び資格
 - (1) 全日本合唱連盟関東支部に所属する茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、神奈川、新潟、山梨、静岡の各県の合唱連盟に加盟している合唱団で、県大会で各部門の代表として当該県理事長の推薦を受けた合唱団、及びシード合唱団であること。
 - (2) 各部門の出演合唱団の人数及び資格は次のとおりです。
 - ア 中学校部門
 - ①出演人数は8名以上。
 - ②同一中学校に在籍する生徒で編成する合唱団。
 - ③複数中学校の生徒で編成する合同合唱団で、常時活動し当該県の理事長が認めた合唱団。
 - ④同一中学校から複数の合唱団が出演できる。
 - ⑤出演団員は同一種別(混声・同声)に1回に限り出演できる。
 - イ 高等学校部門
 - ①出演人数は8名以上。
 - ②同一高等学校に在籍する生徒で編成する合唱団。
 - ③複数高等学校の生徒で編成する合同合唱団で、常時活動し当該県の理事長が認めた合唱団。
 - ④同一高等学校から複数の合唱団が出演できる。
 - ⑤出演団員は同一種別(混声・男声・女声)に1回に限り出演できる。

- ⑥同一の中高一貫校に在籍する生徒で編成する合唱団。ただし、中高一貫校として出演する中学生は規定上高校生として扱う。

ウ 大学職場一般部門

①大学ユース合唱の部

出演人数が8名以上で、出演するメンバー全員が、当該年の4月1日現在28歳以下で編成する合唱団。

なお、中学校部門・高等学校部門に加盟する合唱団は出演できない。

②室内合唱の部

出演人数が6名以上24名以内で編成する合唱団。

③混声合唱の部

出演人数が25名以上で編成する混声合唱団。

④同声合唱の部

出演人数が25名以上で編成する男声合唱団もしくは女声合唱団。

⑤大学職場一般部門では、同一合唱団は1回に限り出演できる。

- (3) 指揮者・伴奏者・独唱者の出演資格は問いません。ただし、中学校、高等学校部門の指揮者・伴奏者・独唱者については、当該校長が認めたものに限ります。

また、指揮者・伴奏者・独唱者は出演人数に含みませんが、合唱メンバーに入っ
て歌う場合は、出演人数に加えるものとし、かつ上記の出演資格を満たさなければ
ならないものとします。

- (4) 前年度関東大会に出演して各部門で全国大会に出場権を得た団体（シード団体）
は、関東支部推薦団体として支部大会に出演できます（中学校部門は除く）。

この団体は各県大会には審査の対象外で出演するものとします。

本年度のシード団体は次のとおりです。（前年度関東大会成績順）

- <高等学校部門> Aグループ 埼玉県立松伏高等学校合唱部(埼玉県)
清泉女学院高等学校音楽部(神奈川県)
日本女子大学附属高等学校コーラスクラブ(神奈川県)
Bグループ 千葉県立幕張総合高等学校合唱団(千葉県)
千葉県立千葉女子高等学校合唱部(千葉県)
埼玉県立浦和第一女子高等学校音楽部(埼玉県)
茨城県立水戸第二高等学校コーラス部(茨城県)
- <大学職場一般部門> 大学ユース 都留文科大学合唱団(山梨県)
東京理科大学グリークラブ(千葉県)
- 室内合唱 La Pura Fuente(神奈川県)
マルベリー・クワイア(神奈川県)
- 同声合唱 湘南はまゆう(神奈川県)
Luna Voce(千葉県)
- 混声合唱 マルベリー・チェンバークワイア(神奈川県)
scatola di voce(埼玉県)

※なお、平成28年度から高等学校部門における現行の支部シード制は廃止します。
理由は別紙1のとおりです。

(5) 全国大会シード合唱団について

前年度の全国大会で金賞を受賞しシード合唱団となった団体は、審査対象外で全国大会の出演が認められています。本大会への出演が前提となります。

(中学校・高等学校部門についてはシード制はありません。)

◆本年度全国大会シード団体……………都留文科大学合唱団

8 編成区分の別

- (1) 中学校部門では混声合唱の部・同声合唱の部の2つの編成区分、高等学校部門では出演人数32名以下のAグループ・出演人数33名以上のBグループの2つの編成区分、大学職場一般部門では大学ユース合唱の部・室内合唱の部・混声合唱の部・同声合唱の部の4つの編成区分に分けます。
- (2) 支部大会では各県理事長が県代表として推薦した県大会のときの編成区分の別を変更することはできません。
- (3) 関東支部推薦団体(シード団体)として支部大会に出演する合唱団は、前年度の全国大会に出演したときの編成区分の別を変更することはできません。
- (4) 本大会の出演人数は県大会人数の10%まで増員を認めます。ただし、県大会出演人数が40名未満の場合は4名の増員まで認めることとします。(高等学校部門Aグループは32名を、大学職場一般部門室内合唱の部は24名を超えることはできません。)

9 出演順(別紙2参照)

出演順は、中学校部門混声・同声(9月19日)、高等学校部門A・Bグループ(9月20日)、大学職場一般部門大学ユース・室内合唱・同声合唱・混声合唱(10月4日)の順とします。

各部門の出演順は本年5月9日の運営委員会で各県運営委員の抽選により別紙2のように決まりました。

※各県の代表団体数が予想団体数を超えた場合及び不足した場合等は、次のように取り扱うものとします。

- (1) 超えた場合 当該県の最終演奏団体に引き続き演奏する。
- (2) 不足した場合 当該県の最終演奏団体より不足数を削除する。
- (3) エントリーしていない場合 部門の一番最初に演奏する。

10 演奏曲と演奏時間

- (1) 課題曲として全日本合唱連盟発行の合唱名曲シリーズNo.44から1曲を選択して演奏しなければなりません。ただし、中学校部門は該当しません。
- (2) 上記のほかに自由曲を演奏するものとします。自由曲については曲目、曲数に制限はありません。
- (3) 演奏順は課題曲、自由曲の順とします。自由曲を合唱名曲シリーズNo.44から選んだ場合は第1曲目を課題曲とみなします。
- (4) 県大会、支部大会、全国大会を通して演奏曲目・曲目順・伴奏楽器を変更することはできません。
- (5) 伴奏楽器は自由ですが、ピアノ1台以外の楽器を使用する場合は各自の負担で用意・移動していただくとともに支部事務局に必ず連絡してください。
- (6) 演奏時間は次のとおりとします。演奏時間を超過した場合は失格とし、審査の対象外とします。

ア 中学校部門
自由曲のみ。演奏開始から演奏終了まで曲間を含めて8分00秒以内。

イ 高等学校部門
自由曲の演奏開始から演奏終了まで曲間を含めて6分30秒以内。

ウ 大学職場一般部門
自由曲の演奏開始から演奏終了まで曲間を含めて8分30秒以内。

- (7) 審査員用として自由曲の楽譜5部(団体名記入)を
中学校・高等学校部門は神奈川県合唱連盟事務局へ、9月12日(土)必着、
大学職場一般部門は茨城県合唱連盟事務局へ、9月26日(土)必着で提出してくだ
さい。提出楽譜は、絶版等やむを得ない場合を除きコピーは不可です。
詳細は出演案内を参照してください。

11 審査と表彰

- (1) 審査は原則として過半数方式(新增沢方式)で行います。
- (2) 成績の発表は各日とも演奏終了後行います。
- (3) 各部門は編成区分別(中学校部門は同声・混声、高等学校部門はA・Bグループ、
大学職場一般部門は大学ユース・室内合唱・同声合唱・混声合唱)に審査し、それ
ぞれに対して金・銀・銅いずれかの賞を贈ります。
- (4) 各部門の最優秀団体に関東支部長賞を、全部門を通して総合1位の団体に全日本
理事長賞を贈ります。
- (5) 各部門から審査員の合議により、全国大会に出演する団体を選出します。ただし、
エントリーがない編成区分を除いて、それぞれの編成区分から必ず1団体以上選出
します。

12 県大会から支部大会に推薦できる団体数

- (1) 県大会からの推薦団体数は、県大会の出演団体数により次のとおりとします。

ア 中学校部門

県大会に出演した団体数	5団体まで	2団体
〃	6団体～10団体	3団体
〃	11団体～15団体	4団体
〃	16団体～20団体	5団体

以下これに準じます。ただし、編成区分(混声合唱の部・同声合唱の部)に各
1団体以上含むものとしますが、どちらか一方の編成区分のみの出演の場合でも
推薦団体数は同じとします。

イ 高等学校部門

県大会に出演した団体数	5団体まで	2団体
〃	6団体～10団体	3団体
〃	11団体～15団体	4団体
〃	16団体～20団体	5団体

以下これに準じます。ただし、編成区分(Aグループ・Bグループ)に各1団
体以上含むものとしますが、どちらか一方の編成区分のみの出演の場合は1団
体を引くものとします。

ウ 大学職場一般部門

①大学ユース合唱の部

県大会に出演した団体数	3団体まで	1団体
〃	4団体～7団体	2団体
〃	8団体～11団体	3団体
〃	12団体～15団体	4団体

以下これに準じます。

②室内合唱の部・混声合唱の部・同声合唱の部

編成区分にかかわらず、次のとおりとします。

県大会に出演した団体数	5団体まで	2団体
〃	6団体～10団体	3団体
〃	11団体～15団体	4団体
〃	16団体～20団体	5団体

以下これに準じます。

(2) シード団体は、上記出演団体数及び推薦団体数のいずれにも含まれません。

13 参加料

出演者1名につき、中学校部門に出演の中学生のみ700円、その他1,200円とし、申込書提出と同時に納入してください。ただし、指揮者、伴奏者、独唱者、譜めくり者の参加料は不要です。

いったん振り込まれた参加料は、原則として返金いたしません。増員の場合は、支部あてご連絡願います。

なお、参加証は申込人数プラス3枚を参加料受領後郵送します。

14 参加申込みと参加料の納入

参加団体は、各県大会終了後、必ず3日以内に支部事務局に届くよう申込書を送付してください。

また、参加料は団体名で下記の口座に振り込んでください。

なお、大学職場一般部門大学ユース合唱の部は指揮者、伴奏者、独唱者を除く出演者全員が平成27年4月1日現在28歳以下でなければなりません。大学ユース合唱の部に参加を申し込む団体は、申込書とともに出演予定の合唱団全員の氏名、生年月日を記載した名簿（様式自由）を提出してください。

申込先（支部事務局）

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2 朝日新聞東京本社内
全日本合唱連盟関東支部事務局 TEL 03(6264)2372
FAX 03(6264)2391

振込先

銀行名 朝日新聞信用組合 本店
口座番号 普通 0422814
名 称 関東合唱コンクール

15 経 費

参加に必要な交通費、宿泊費等は参加団体の負担とします。宿泊・お弁当については、神奈川会場では「名鉄観光サービス(株) 横浜支店」(TEL 045-641-4166)、茨城会場では「名鉄観光水戸支店」(TEL 029-221-4528)が担当いたします。

16 一般入場料と入場券の申込方法

一般入場料は各会場とも1日1,300円(中学生以下1,000円)で、プログラム代金を含みます。

入場券ご希望の方は、各団体でまとめて各県又は支部事務局に申し込んでください。

なお、中学校・高等学校部門については事前販売のみとし、当日販売は行いません。

17 その他

- (1) 来局申込みは毎週月曜日と木曜日の11:00~17:00の間をお願いします。
- (2) 天災、流行性疾病等大会開催に影響を与える事態が生じた場合、又は生じる恐れがある場合は大会を中止することがあります。
- (3) 参加料の領収書は銀行の振込受領書をもって代えさせていただきますが、特に連盟発行の領収書が必要な場合は申込書通信欄にその旨記入してください。
- (4) 自由曲については、プログラムに正しく掲載するために、演奏曲の楽譜の表紙(組曲の場合は組曲名のわかる部分)及びそれぞれの曲の曲名、作詞者、作曲者等が記載された楽譜の該当部分のコピーを必ず添付してください。
- (5) 県大会終了後、各団体の連絡者に時間帯記入の出演案内を郵送します。
- (6) 交通事情等連絡を必要とすることもありますので、同行者の携帯電話番号も記入願います。
- (7) 各種のお問い合わせは下記あてにお願いします。

○月曜日・木曜日(11:00~17:00)

支部事務局

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2

朝日新聞東京本社内 全日本合唱連盟関東支部

TEL 03(6264)2372 FAX 03(6264)2391

E-mail kanto@jcanet.or.jp

<楽譜送付先>

◆神奈川県合唱連盟事務局

〒231-0021 神奈川県横浜市中区日本大通15

TEL 045-681-6033 FAX 045-662-5119

◆茨城県合唱連盟事務局

〒310-0011 茨城県水戸市三の丸1-5-38 茨城県三の丸庁舎3階

茨城県水戸生涯学習センターB室 TEL&FAX 029-233-1747

<別紙 1>

平成28年度から高等学校部門における 現行の支部シード制を廃止する理由について

○高等学校部門は出演団体数が増加し、すでに1日の開催では限界を超えています。大会運営に様々な支障が生じているため、適正な団体数で実施しようとするものです。

○高等学校部門における現行の支部シード制を廃止した場合の出演団体数を昨年度の結果を基にシミュレーションしますと、48団体から42団体になり、1時間程度時間短縮が可能となります。

○この結果、1団体あたりの時間ピッチや休憩時間など今よりも長めに設定することができ、審査員の負担感を減少させ、運営にも余裕を持つてあたることができるようになります。

○コンクールの活性化のためには、支部シード制を存続させるとともに、代表選出のピッチも見直し、出演団体数を増やして2日間開催にするという考え方もありますが、近々の実施は難しいことから、大会運営上やむを得ない措置として現行の支部シード制を廃止するものですので、何卒ご理解くださるようお願い申し上げます。

第70回関東合唱コンクール出演順(平成27年5月9日抽選) 前年度出演団体数 133

中学校混声 16 団体 茨城 2 栃木 1 群馬 1 埼玉 4 千葉 2 神奈川 2 新潟 2 山梨 1 静岡 1

1	茨城	2	神奈川	3	埼玉	4	茨城	5	千葉	6	静岡	7	埼玉
8	山梨	9	千葉	10	新潟	11	神奈川	12	埼玉	13	埼玉	14	栃木
15	群馬	16	新潟	17		18		19		20		21	

中学校同声 25 団体 茨城 2 栃木 4 群馬 2 埼玉 6 千葉 4 神奈川 1 新潟 2 山梨 2 静岡 2

1	千葉	2	埼玉	3	埼玉	4	神奈川	5	埼玉	6	栃木	7	千葉
8	山梨	9	静岡	10	栃木	11	埼玉	12	群馬	13	栃木	14	新潟
15	茨城	16	茨城	17	群馬	18	栃木	19	千葉	20	埼玉	21	新潟
22	静岡	23	千葉	24	山梨	25	埼玉	26		27		28	

高校 A 25 団体 茨城 1 栃木 3 群馬 2 埼玉 3 千葉 3 神奈川 4 新潟 2 山梨 4 静岡 3

1	山梨	2	新潟	3	山梨	4	静岡	5	群馬	6	静岡	7	神奈川
8	群馬	9	栃木	10	埼玉	11	新潟	12	栃木	13	千葉	14	静岡
15	山梨	16	山梨	17	埼玉	18	神奈川	19	埼玉	20	茨城	21	神奈川
22	栃木	23	千葉	24	神奈川	25	千葉	26		27		28	

高校 B 23 団体 茨城 2 栃木 2 群馬 2 埼玉 8 千葉 3 神奈川 3 新潟 1 山梨 1 静岡 1

1	静岡	2	埼玉	3	神奈川	4	神奈川	5	山梨	6	埼玉	7	千葉
8	栃木	9	埼玉	10	新潟	11	埼玉	12	栃木	13	埼玉	14	茨城
15	群馬	16	茨城	17	埼玉	18	群馬	19	埼玉	20	千葉	21	神奈川
22	埼玉	23	千葉	24		25		26		27		28	

大学ユース 10 団体 茨城 2 栃木 0 群馬 1 埼玉 1 千葉 1 神奈川 1 新潟 1 山梨 2 静岡 1

1	群馬	2	茨城	3	静岡	4	茨城	5	山梨	6	山梨	7	神奈川
8	埼玉	9	新潟	10	千葉	11		12		13		14	

室内 19 団体 茨城 2 栃木 1 群馬 2 埼玉 2 千葉 3 神奈川 4 新潟 2 山梨 2 静岡 1

1	神奈川	2	茨城	3	千葉	4	茨城	5	千葉	6	静岡	7	群馬
8	山梨	9	新潟	10	神奈川	11	埼玉	12	新潟	13	神奈川	14	神奈川
15	埼玉	16	山梨	17	群馬	18	栃木	19	千葉	20		21	
22		23		24		25		26		27		28	

同声 7 団体 茨城 0 栃木 1 群馬 0 埼玉 2 千葉 1 神奈川 2 新潟 0 山梨 0 静岡 1

1	千葉	2	神奈川	3	埼玉	4	静岡	5	栃木	6	埼玉	7	神奈川
---	----	---	-----	---	----	---	----	---	----	---	----	---	-----

混声 7 団体 茨城 0 栃木 0 群馬 1 埼玉 2 千葉 1 神奈川 1 新潟 1 山梨 0 静岡 1

1	静岡	2	新潟	3	埼玉	4	千葉	5	神奈川	6	群馬	7	埼玉
8		9		10		11		12		13		14	

関東支部使用欄 この行には記入しないで下さい	中混・中同・高A・高B・大・室・同・混	—	
---------------------------	---------------------	---	--

～ 第70回 関東合唱コンクール参加申込書 ～

ふりがな			
団体名			
部門(○印)	中学校部門	高等学校部門	大学職場一般部門
編成区分(○印)	同声・混声	A・B	大学コース・室内 同声・混声
種別 (中学校部門は不要)		混声・女声・男声	混声・女声・男声
人数	名(指揮者・伴奏者、独唱者を除く)		県連
ふりがな 指揮者		ふりがな 伴奏者	※ピアノ以外の楽器の場合は楽器名も記入してください。
ふりがな 連絡者	[〒]		
(中学校・高等学校の 場合は、学校の住所を お書きください。)	氏名	TEL	学校又は自宅 () -
			携帯電話 - -
ふりがな 同行者	氏名	TEL	学校又は自宅 () -
			携帯電話 - -

上記のとおり参加を申し込みます。参加料 円は
指定銀行に 月 日付、振り込みましたのでご査収願います。

内訳 @700× 名分

@1,200× 名分

平成27年 月 日

代表者名 印

全日本合唱連盟関東支部

支部長 梅山 登 様

(中学校・高等学校の場合は、校長名と校長印を押してください。)

通信欄	
-----	--

※裏面に演奏曲目等の記入欄があります。必ずご記入ください。

合唱団名	(県)		
<p>演奏曲目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楷書ではっきりと ・外国人作曲者、作詞者の書き方 <p>例 Javier Busto</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原語曲は活字体で ・演奏時間 曲ごとの演奏時間は正味の値、最下部の演奏時間は曲間の時間も含めます。 タイムテーブル作成上重要な情報ですので可能な限り正確な値の記入をお願い致します。 ・自由曲については、演奏曲の楽譜の表紙(組曲の場合は組曲名のわかる部分)及び、それぞれの曲の曲名、作詞者、作曲者等が記載された楽譜のコピーを必ず添付してください。 	課題曲	記号 () ・ (分 秒)	
	自由曲.1 (分 秒)		作詩 作詞 (○付)
			作曲
			編曲
	自由曲.2 (分 秒)		作詩 作詞 (○付)
			作曲
			編曲
	自由曲.3 (分 秒)		作詩 作詞 (○付)
			作曲
			編曲
自由曲が4曲以上の場合は上記と同様に記載してください。			
全自由曲演奏時間 (曲間も含め 分 秒)			
全演奏時間 (課題曲から自由曲すべて 分 秒)			